



# 上田左岸地域協議会だより

令和6年3月31日発行  
(第2号)  
発行：上田左岸地域協議会

## ごあいさつ

本協議会は、2年任期の後半に当たる令和5年度事業として、前年の地域の現況調査を踏まえて3分科会に分かれて調査研究を行ってまいりました。テーマは「上田市のまちづくりに関する補助金等の検討」、「食事を介した多世代交流の場への支援」、「城南、塩田、川西地域の既存資源を有効活用した地域活性化策」として検討を重ね、1月に意見書の提出を行い、3月に市から回答がありました。御協力をいただいた自治会をはじめ関係の皆様方に厚く御礼を申し上げます。今後、市と地域住民の皆様によるまちづくりがさらに進むことを念願して挨拶といたします。



会長 小山 晃

## 地域協議会について

地域協議会は、市の附属機関として、住民の皆さんの意見や要望をとりまとめて市政に反映させるため、市内5地域に設置されています。条例に定められた4つの任務に基づき、住民と行政との協働を進めながら地域の個性や特性が生かされ、地域力が発揮される「まち」の実現に向けて取り組んでいます。

### 4つの任務と活動実績（任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日）

①市長等からの諮問に対する審議及び答申  
令和5年度の諮問案件はありませんでした。

③住民自治の推進や住民との協働によるまちづくりについて調査研究を行うこと

②市長からの意見聴取に対して意見を述べること  
市からの報告等が2件ありました。

④市長等に対して意見を述べること  
3つの分科会に分かれて調査研究を進め、提言をまとめました。詳しくは裏面をご覧ください。

## 令和5年度「わがまち魅力アップ応援事業」の紹介

地域	団体名	事業内容	事業年数
塩田	柳沢自治会	新しくなった手洗池へ多くの方に訪れていただき、豊かな自然環境でのウォーキングによる健康増進、再整備された遊歩道を楽しみながら散歩できる環境整備を目的とした事業。山野草の保全活動と散歩コース案内看板と花看板の設置などに取り組みました。	5/5
塩田	石神自治会	自治会所有の西山地籍山林が皆伐され見晴台（六柱神社）からの眺望が良くなり、地域の安全を司る「六柱神社」のお祭りで賑わった当時の再現、旧参道を整備することにより、地域住民の「憩いの場・交流の場」、子供から高齢者まで安全に展望台まで行くことを可能にし、健康増進と地域への愛着と一体感を深めることを目的とした事業。これまで整備した歴史の径全般の補修工事と植栽整備に取り組みました。	5/5

### 上田左岸地域協議会 第9期委員名簿（50音順 敬称略）

和田 昭子	山田 圓淳	山岸 巳津雄	柳澤 裕理	安江 昭彦	宮下 法子	宮崎 直子	宮坂 文子	○松田 和夫	樋口 かほる	羽田 明	西入 直喜	富田 健一朗	田村 実英	田中 敏子	◎小山 晃	小林 とみ子	加藤 静雄	○浅川 司	赤堀 三幸
-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	------	-------	--------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------

◎会長 ○副会長

# 分科会の取組

## ●第1分科会「自治・まちづくり」

### 意見書の内容 ※一部抜粋

#### 上田市のまちづくりに関する補助金等の検討について

①コミュニティ活動交付金  
基本的な自治会活動を支援するため、現行の均等割額に加え、世帯割による加算を導入。また、自治会費の減少が著しい自治会については、新たな補助算定基準を検討。  
②資源としてリサイクルできるものは回収して、ごみの減量化と生活環境の保全を推進するため、ごみ集積場の修繕も補助金の対象とすること。

### 市からの回答 ※要旨

①自治会活動の担い手不足や収入減少等により、自治会運営の厳しさが増えていると認識しています。  
交付金の充実は財源の確保が課題であり、総額を増やすことは難しい状況ですが、引き続き自治会への支援について研究してまいりたいと考えております。  
②市の財政状況から、修繕費を対象とすることは厳しいため、従来どおりの「新設対象」で御理解いただきたいと考えております。  
資源回収については、令和6年1月に、試験的に一升瓶・ビール瓶の一回回収を実施したところ非常に好評でしたので、令和6年度の開催も計画しております。



#### 〈メンバー〉

加藤 静雄 富田健一朗  
小林とみ子 羽田 明  
◎小山 晃 樋口かほる

## ●第2分科会「子育て・福祉・教育」

### 意見書の内容 ※一部抜粋

#### 「食事を介した多世代交流の場」への支援について

①信州子どもカフェに対応する窓口の設置をすること。  
②上田市の「子ども食堂」は民間施設を利用しているところが多く、光熱水費等の値上がりに苦慮している。上田市として、公民館施設の無償提供、光熱水費の免除について、今後も継続すること。

### 市からの回答 ※要旨

①「こどもカフェ」は県がプラットフォームとして取組を進めておりますが、活動の周知等については、県と市が連携を取り実施しております。また、「こどもカフェ」に関するお問合せには子育て・子育て支援課が窓口となり、必要に応じて県と調整等を行っています。今後も公民館等への情報提供を含め、周知等に努めてまいります。  
②公民館は社会教育施設として、使用及び使用料減免の可否を一定の基準に基づき、運営主体や事業内容を総合的に勘案し判断しております。現在、施設使用料等の金額や減免基準について、全庁的に見直しを進めております。見直しの方向性が決まりましたら、利用者登録団体等へご説明いたします。



#### 〈メンバー〉

◎浅川 司 宮崎 直子  
田中 敏子 宮下 法子  
西入 直喜 柳澤 裕理  
宮坂 文子

## ●第3分科会「産業・地域振興」

### 意見書の内容 ※一部抜粋

#### 城南、塩田、川西地域の既存資源を有効活用した地域活性化策について

①左岸地域における農産物のブランド化を推進し、生産力向上と生産者、農業者団体が安定した収益が得られるよう継続的な支援・育成を行うこと。  
②左岸地域における特産物の知名度の向上を目指し、多様なPRと販路開拓、販路拡大による地域活性化の推進を進めること。

### 市からの回答 ※要旨

①「しおだSUNダイズ」と地元味噌蔵による商品開発や、味噌づくり講座の開催など、地元関係団体と連携をしながら支援を実施しております。今後も生産者団体と連携をとりながら、ブランド化に向けた支援に取り組んでまいります。  
また、ブランディングに対する取組を支援するブランディング支援事業補助金があります。  
②地元産農産物の加工品のPRについては、上田地産地消推進会議が実施しており、製品のこだわりや開発のストーリーなど購買意欲がわくよう工夫していきたいと考えております。  
また、新たな販路開拓、拡大の取組については、関係部局で連携を図りながら周知等に協力してまいります。



#### 〈メンバー〉

赤堀 三幸 山岸巴津雄  
田村 実英 山田 圓淳  
◎松田 和夫 和田 昭子  
安江 昭彦

## あ と が き

地域の課題や上田左岸地域協議会に対するご意見をお聞かせください。

いただきましたご意見は、上田左岸地域協議会のなかで、地域の声として協議・検討してまいります。

【上田左岸地域協議会事務局】 上田市役所 市民参加・協働推進課（電話75-2230 FAX23-5246）  
城南公民館（電話27-7618 FAX27-7467）  
塩田地域自治センター（電話38-3000 FAX38-7878）  
川西地域自治センター（電話75-5840 FAX75-5860）